別記様式第33号

措置入院者の病状報告書

年　　月　　日

島根県知事　　　　　　　　様

病院名

所在地

管理者名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 措置入院者 | | フリガナ | |  | | | | | 生年月日 | 年　　月　　日生  (満　　　歳) | |
| 氏名 | | (男・女) | | | | |
| 住所 | |  | | | | | | | |
| 措置年月日 | | 年　　月　　日 | | | | | 今回の入院年月日 | 年　　月　　日 | | | |
| 入院形態 |  | | | |
| 前回の定期報告  年月日 | | 年　　月　　日 | | | | | | | | | |
| 病名 | | 1主たる精神障害  ICDｶﾃｺﾞﾘｰ(　　　) | | | | 2従たる精神障害    ICDｶﾃｺﾞﾘｰ(　　　) | | | | | 3身体合併症 |
| 生活歴及び 現病歴  推定発病年月、精  神科受診歴等を  記載すること。 | | (陳述者氏名　　　　　　　　　続柄　　　　　　　) | | | | | | | | | |
| 初回入院期間  前回入院期間  初回から前回までの入院回数 | | 年　　月　　日～　　年　　月　　日(入院形態　　　　　　)  　　　年　　月　　日～　　年　　月　　日(入院形態　　　　　　)  　　　計　　　　回 | | | | | | | | | |
| 過去6か月間(措置入院後3か月の場合は過去3か月間)の仮退院の実績 | | 計　　　　回　　　　　　延日数　　　日 | | | | | | | | | |
| 過去6か月間(措置入院後3か月の場合は過去3か月間)の治療の内容とその結果  問題行動を中心として記載すること | |  | | | | | | | | | |
| 今後の治療方針(再発防止への対応含む) | |  | | | | | | | | | |
| 処遇、看護及び  指導の現状 | | 隔離 | | | ⅰ多用　ⅱ時々　ⅲほとんど不要 | | | | | | |
| 注意必要度 | | | ⅰ常に厳重な注意　ⅱ随時一応の注意  ⅲほとんど不要 | | | | | | |
| 日常生活の介助指導必要性 | | | ⅰ極めて手間のかかる介助  ⅱ比較的簡単な介助と指導  ⅲ生活指導を要する　ⅳその他(　　　　) | | | | | | |
| 重大な問題行動(Ａはこれまでの、Ｂは今後おそれある行動) | | | 現在の精神病状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像(該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。) | | | | | | | | |
| 1　殺人  2　放火  3　強盗  4　強制性交等  5　強制わいせつ  6　傷害  7　暴行  8　恐喝  9　脅迫  10 窃盗  11 器物損壊  12 弄火又は失火  13 家宅侵入  14 詐欺等の経済的な問題行動  15 自殺企図  16 自傷  17 その他  　(　　　　) | Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ  Ａ | Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  ＢＢ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ  Ｂ | 〈現在の精神症状〉 Ⅰ　意識  　1意識混濁　2せん妄　3もうろう　4その他(　　　　)  Ⅱ　知能(軽度障害、中等度障害、重度障害)  Ⅲ　記憶  　1記銘障害　2見当識障害　3健忘　4その他(　　　　)  Ⅳ　知覚  　1幻聴　2幻視　3その他(　　　　)  Ⅴ　思考  　1妄想　2思考途絶　3連合弛緩　4滅裂思考　5思考奔逸  　6思考制止　7強迫観念　8その他(　　　　　)  Ⅵ　感情・情動  　1感情平板化　2抑うつ気分　3高揚気分　4感情失禁  　5焦燥・激越　6易怒性・被刺激性亢進　7その他(　　　　)  Ⅶ　意欲  　1衝動行為　2行為心迫　3興奮　4昏迷　5精神運動制止  　6無為・無関心　7その他(　　　　)  Ⅷ　自我意識  　1離人感　2させられ体験　3解離　4その他(　　　　)  Ⅸ　食行動  　1拒食　2過食　3異食　4その他(　　　　) | | | | | | | | |
|  |  |  | 〈その他の重要な症状〉  　1てんかん発作　2自殺念慮　3物質依存(　　　　)  　4その他(　　　　　)  〈問題行動等〉  　1暴言　2徘徊　3不潔行為　4その他(　　　　)  〈現在の状態像〉  　1幻覚妄想状態　2精神運動興奮状態　3昏迷状態  　4統合失調症等残遺状態　5抑うつ状態　6躁状態  　7せん妄状態　8もうろう状態　9認知症状態  　10その他(　　　　) | | | | | | | | |
| 診察時の特記事項 | | |  | | | | | | | | |
| 本報告に係る診察年月日 | | | 年　　月　　日 | | | | | | | | |
| 診断した精神保健指定医氏名 | | | 署名 | | | | | | | | |

(裏面)

記載上の留意事項

　1　太線内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。

　2　今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること。（特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第1項・第4項入院」、「第33条第3項・第4項入院」又は「第33条の7第2項入院」と記載すること。）なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。

　3　生活歴及び現病歴の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。

　4　生活歴及び現病歴の欄は、前回報告のコピーの添付でもよいが、新たに判明した事実がある場合には追加記載すること。

　5　平成20年３月31日以前に広告している神経科における受診歴を精神科受診歴等に含むこととする。

6　初回及び前回入院期間の欄は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。

　7　重大な問題行動の欄には、Ａはこれまでに認められた問題行動を、Ｂは今後おそれのある問題行動を指し、該当する全ての算用数字、Ａ及びＢを○で囲むこと。

8　現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数か月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。

　9　診察時の特記事項の欄は、被診察者の受診態度、表情、言語的及び非言語的なコミュニケーションの様子、診察者が受ける印象等について記載すること。

　10 診断した精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。

　11 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。